

すぎのこつうしん

平成29年3月 古川東町カトリック保育園

「4つの心で出発(たびだち)に備える」

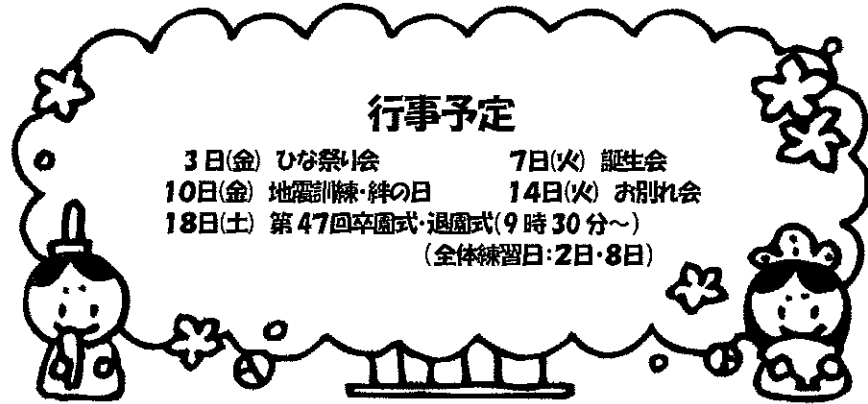
先月は、暖かい日が続いたかと思うと、気温が10度も下がったりと不安定な月でした。インフルエンザに罹患した子どももいますので、うがい・手洗いを習慣づけていきましょう。

3月は一年間の締めくくりの月です。この一年間を振り返り、4つの心「あいさつ、ありがとう、あやまりあう、あたえあう」が身に付いているか、身に付くよう努力しているかを再確認して、新たな気持ちで新年度に備える時期でもあります。先月、就学に向けての小学校と保育園、幼稚園の連絡会があり、担任が参加して来ました。その時に小学校に入学するまでに身に付けて欲しいという事が話されたとのことでした。一日入学に行った就学児の親御さんたちはすでにお話があったことと思います。

その中に、1. あいさつが出来ること 2. ありがとうが言えること 3. 返事が出来ること という項目があったと聞きました。まさに、カトリック保育園で、小さい頃から育んでいくことを目標にしているものですが、やはり保育園だけでなく家庭でも一体となって、子ども達、保護者の皆様、園の職員全員が身に付けていかなければならない事だと改めて感じました。少し前までは、就学までに身に付ける事の項目にはなかったように思いますが、その大切さを感じていないかのために、身に付いていない子が多くなっているという事なのでしょいか。

この3月改めて「4つの心」の大切さを考えてみて欲しいと思います。小学校入学のためではなく、社会の中で生活していくためにはかかせない事です。みんなで育んでいきましょう。

< 園長 平野綾子 >



行事予定

3日(金) ひな祭り会 7日(火) 誕生会
 10日(金) 地震訓練・絆の日 14日(火) お別れ会
 18日(土) 第47回卒園式・退園式(9時30分～)
 (全体練習日:2日・8日)



3月のうた

キリストの平和

1. キリストのへいわが ※わたしたちの こころの すみずみにまで ゆきわたりますように
2. キリストのひかりが (*繰り返し)
3. キリストのちからが (*繰り返し)
4. キリストのいのちが (*繰り返し)

おもいでのアльバム

1. いつのことだか おもいでしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう
うれしかったこと おもしろかったこと いつになっても わすれない
2. はるのことです おもいでしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう
ほかほかおにわで なあよくあそんだ きれいなはなも さいていた
3. なつのことです おもいでしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう
むぎわらぼうして みんなほだかんぼ おふねもみたよ すなやまも
4. あきのことです おもいでしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう
どんぐいやまの ハイキングラララ あかりはまも どんでいた
5. ふゆのことです おもいでしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう
もみのきかざって メリークリスマス サンタのおしりさん わらってる
6. いちねんじゅうを おもいでしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう
もものおはなも きれいにさいて もうすぐみんなは いちねんせい

お父さん・お母さんから

ひとつ、またひとつ行事が終っていく度に寂しいっばい。... とうとう残すは卒園式だけとなりました。ひよこ組からの保育園生活、つかまり立ちがやっとだった〇〇がもうすぐ小学生、まだ信じられませんが、泣き虫で想いや気持ちを言葉で伝えることが苦手な〇〇。そんな〇〇を理解し受け止めてくれた先生方やお友達に感謝の気持ちでいっぱいです。

〇〇と仲良くしてくれたお友達、たくさんの思い出をありがとう。悠〇〇に関わって下さった先生方、親子共々ご指導本当にありがとうございました。保育園で学んだこと、思い出を大切にこれからの生活も頑張っていってほしいと思います。

<ひつじ組 〇〇〇〇ちゃんのお母さん 〇さん>

お父さん・お母さんから

〇〇は7ヵ月で入園し、カトリック保育園5年6ヵ月お世話になりました。
兄や姉も保育園にいたので、特に泣くこともなくすぐ保育園に慣れることが出来ました。
今では、また甘えん坊のところもありますが、小さい子が大好きな優しい男の子になりました。
私達は仕事が忙しく、あまり構ってあげられなかったと反省するところもありますが、友達や保育園の先生達にいろいろ教えてもらい育ってくれたと感謝しています。
保育園での生活も遅れずかなので一日一日を大切に過ごしてほしいです。
今まで本当にありがとうございました。

<ひつじ組 〇〇〇〇ちゃんのお母さん 〇〇〇さん>

「4つの心で出発(たびだち)に備える」

ミルクを飲んでいた赤ちゃんが卒園を迎えようとしています。離乳食も食べるのに苦労していた小さな小さな身体も「おかわり!!」「もっと食べたい!!」とたくましく健康で大きな身体になりました。毎日の食事の中でいただきます、ごちそうさまの「あいさつ」、食材や料理に関わったものすべてに「あいさつ」、残してしまって「ごめんなさい(謝り合う)」、おかわりかき出しかなにからみんで「分けよう」「与え合う」。日々の積み重ねが、子どもたちの4つの心の育成になっているのだと感じます。小さな事かもしれませんが、毎日大切に過ごしていきたいですね。

<栄養士 石川真紀>



〇ぼんび組(0歳児)

- <ねらい> ・4つの心を育みながら、1歳児クラスへ興味を持つ。
・散歩や外気に触れ、季節の変化を感じる。
- <家庭連携> ・簡単な言葉を理解できるようになってきたので4つの心が育むよう言葉や動作で知らせていきましょう。又、1歳児クラスで過ごすことが増え、動揺が見られるかもしれません。甘えたい気持ちを受け止めるようにしましょう。
・歩けるようになったことを喜び合いながら伸び伸びと体を動かして遊べるよう暖かい日は戸外に誘いましょう。

〇ひよこ組(1歳児)

- <ねらい> ・4つの心を言葉や動作で表そうとする。
・進級を楽しみに過ごす。
- <家庭連携> ・「あいさつ」「あいさつ」「あやまりあう」「あたえあう」の4つの心を言葉や動作で表せるよう、家庭でも知らせていきましょう。
・こどい組へ進級する喜びを受け止め、家庭でも簡単な身の回りのことを自分でできるよう一緒に取り組んでいきましょう。

〇こどい組(2歳児)

- <ねらい> ・3歳児クラスに期待を持ち、4つの心を表すようになる。
・身の回りのことを自分でしようとし、達成感や喜びを感じる。
- <家庭連携> ・「こねこ組になるんだもんね」など進級に期待が持てるように話をしたり、自分の力でやろうとしている姿を見守り、「できたね!」と認めてあげてください。

〇こねこ組(3歳児)

- <ねらい> ・4つの心を互いに意識し合い、生活する。
・進級に期待を持ち、意欲的に取り組む。
- <家庭連携> ・4つの心を一緒に確認し、1つ1つの大切さを知らせましょう。
・身の回りの準備等を意欲的にやるよう、進級を意識した励ましの言葉を掛けたり、頑張ったことを褒めましょう。

〇うさぎ組(4歳児)

- <ねらい> ・新しい出発(たびだち)に期待を持ち、4つの心が育つ。
・身近な自然の変化に気付いたり、春の訪れを感じたいとする。
- <家庭連携> ・進級することの自覚や期待が高められるような言葉を掛けたり、身の回りのことを自分で行おうとするよう働きかけたいと思います。
・暖かい日は戸外で遊ぶなどして、身近な自然の移り変わりに気付くようにしていきたいです。

〇ひつじ組(5歳児)

- <ねらい> ・4つの心が育ち、出発(たびだち)に備える。
・就学する自覚と喜びを持ち、自信を高める。
- <家庭連携> ・みんで4つの心を実践し、素直に言えるようにしていきたいです。
・一緒に子どもたちの成長を喜びながら連携をとり合い、安心して就学を迎えられるようにしていきたいです。

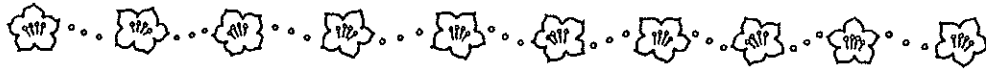
〇給食室から

- ・日中暖かくなってきましたが、朝晩が冷え込みます。心も身体も元気に新年度を迎えるため早寝・早起きをし、朝ごはんをしっかり食べましょう。

お知らせ

3月21日(火)より新年度の準備期間となり各クラス新年度の保育室で過ごします。

下駄箱の場所なども順次変わりますのでご確認ください。



あなたの一分間拝借！

2017年3月1日

♪いつのことだか おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
うれしかったこと おもしろかったこと
いつになっても わすれない・・・

卒園式の歌『思い出のアルバム』を歌う時が近づいてきました。卒園生が大きな声で、力いっぱい思い出を胸に抱きしめ、歌ってほしいものです。

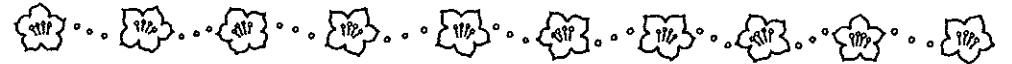
光陰矢の如しで、6年間あっという間に過ぎてしまいました。
人見知りしたり、お腹が空いて泣き叫んだり、隣のお友だちの皿にある果物に「おいしそうだなあ」と手を出して先生を困らせたパンビ時代。
靴を自分一人で履けずベソをかいたひよこ時代。
誰よりも上手に汽車ポッポが出来る様になりマリアさまのご像の前で一時停車して、「アヴェ マリア」と祈って得意満面に笑顔を見せるコトリさん達。
朝のご挨拶の時「トントン前！トントン前！」ときれいに並んで褒められたコネコさん時代。
今日の散歩は誰と手をつなごうかなあ・・・。気に入るお友達の奪い合いに注意された年長児時代。
みんなみんな楽しい忘れてはいけない思い出ですネ。

3月は、会計年度だけではなく全てのことに『締めくくり、年度総括』の月として重んじられております。カトリック保育園でも人間性教育についての『4つの心、即ちあいさつ、ありがとう、謝り合う、あたえ合う心』が生活の流れの中でしっかりと行ったかどうかを振り返り、心の軌道修正をする大切な月であることを鑑(かん)がみ、皆でカトリックならではの姿勢を身に付けて、新しい『たびだち』に備えていただきたいと思います。

『4つの心』を言い表すことが出来れば、新しい場に行ってもすぐにお友達も出来ますし、あの子は信用できる子だなと自然にみなされ、学校は楽しいところだなと自信をもって益々社会性を高めていくことができるようになります。登校拒否も不登校も学級崩壊もなくなることでしょ。

『4つの心』のうちで何か一つでも欠けると「和」が崩壊し、争いのもとになったり、果ては感情的になって暴力の餌食になりかねません。“大きくなったら、だんだん挨拶もアリガトウも言えるようになるから、今そんなにすすめなくてもいいさ”と「タカ」をくくって、手抜き育児をしていると狼の皮をかぶった大人になること必定であることに目覚め、3月の目標達成に特に力を尽くしていただきたいものです。

『4つの心』の実践は、両親の胸に抱かれる時から始まるものです。心に刻んで欲しいことですね。乳児の笑顔に元気を貰う事だけで終わるような育児からは愛に生きる人間は誕生しません。自重自戒ものですネ！



ある幼稚園での出来事です。あと一ヶ月で小学校に行くY君は、まだ「おもしろ」をして先生のお世話をしている姿を見て、友達のA君が先生に手紙を書きました。「先生、いつもありがとう！Y君のお世話をさせていただいて！」先生はA君の手紙を見て凄く喜んだそうです。今までの苦労が癒された思いで心がいっぱいだったそうです。小学校に入学する子どもにも、他人の不安・心配を自分のことのように「ありがとう」と言えるまで育てていることに、教えられることがあるような気がしてなりません。わが保育園に、そこまで成長している子が、果たして何人いるか危惧する自分です。

「あいさつ」は、こころの窓であり交わりの門であることを子ども達に伝承し、お友達同士であいさつができるように呼び掛けましょう。挨拶如何で人柄があかされるといわれているだけに、そのやり方に配慮いたしましょう。

「ありがとう」は、自然の恵み、両親の愛に應える力、家族の絆、いのちの与え主である神への道

「謝り合う心」は、「ゆるしあうところ」のあるところに和を創造し、改心の神秘に目覚める事に神は恵みを注ぐ。

「与え合う心」は、神が最も望む愛の仕業、取引なし、無償の業である。他人の負の財産を自分のことのように受け入れる仕業、これで決まることを肝に銘じ、生涯学習と享け止めたいものですネ。

神はあなたの愛と慈しみの心に、いつも共におられることを忘れずに、4つの心で新しい世界でベストを尽くされるよう胸を張って「たびだち」下さい。12名の卒園児の皆様の上に神の御祝福が豊かにありますように！



カトリック古川教会
司祭 川井 啓

